



ザンバーン通信

女子学生インタビュー

特別編

理工系の室蘭工業大学で、生き生きと学生生活を送る女子学生たちにインタビュー！今回は特別編として、本学の元学生であり准教授でもある石川先生にお話を伺いました。「理工系って面白そう！」「私もやってみたい！」と感じる中高生の皆さんが一人でも増えることを期待しています。

室蘭工業大学を志望した理由

世界一のナビゲーションシステムを開発したいという幼少期からの夢があり、理工系への進学は常に意識していました。同時に、出身の札幌手稲高校は室工大への進学者が多く、自然と室蘭工業大学も視野に入っていました。その一方で、家は裕福ではなく、かつ大学進学自体に反対する親族がいたため、あまりお金をかけなくても実家から離れられる場所を探して室蘭工業大学に辿り着きました。高校のテストでは地理以外は毎回赤点ギリギリで、なんともいっても高校数学は大嫌いだっただけですが、そんな高校生が工学部に進学して数学者になるなんて例は、私以外にはないでしょうね。でも、私の場合は室蘭工業大学に入ったからこそ数学者になれたのだと思います。

大学生活について

大学に入ってから興味は赴くまま勉強していました。学部2年生からは（本インタビュアーの）森田先生にご指導いただいて、数学の自主ゼミを行っていました。専門書を読んで、その内容をまとめて話すだけなのですが、これがまあ



難しい。「分かる」とはどんなことを指すのが分からず、毎回悔しくてたまりませんでした。ただ、幸運にもその中で新しい結果が出て、様々な研究集会で発表させていただいたのですが、これがさらに難しい。自分の結果がどう「良い」のか伝える語彙も教養も無いことにはたと気付かされました。それから数学以外にも色々勉強するようになり、さらに中古のロードバイクを買ってからは、登別温泉や白老あたりまで走って、身近な「良い」とされるものを沢山体験して回りました。室蘭は田舎ですが、やるべきことが多すぎて暇になることはありませんでしたね。

今の研究について

私はグラフ理論という数学の一分野について研究をしています。ここでのグラフとは、点と線の接続関係を指します。例えば、路線図は駅と路線によるグラフ、地図は交差点と道路によるグラフと言えます。グラフ理論には、学部1年生の夏に図書館で出会いました。当初はナビ作成のために勉強していました。ただ、世界一のナビを作るにはグラフ理論で新しい理論を構築する必要があるのではないかと考え、本腰を入れて勉強するようになりました。今はグラフに対するゼータ関数について研究しています。情報分野とも非常に深い関わりがあるものなので、いつか



室蘭工業大学
ひと文化系領域

准教授 石川 彩香さん

は学内で共同研究できたらなぁと夢見ております。

将来の目標

幼稚園児の頃から戦隊ヒーローの悪役に憧れていました。ヒーローの弱みを分析し、作戦に適切な怪人をけしかけ、確実にダメージを与える。そんな地道で着実に目標に近づく努力をする姿に憧れ、私の目標も「世界征服」になっていました。今はだいぶ落ち着いて(?)数学者になりましたが、依然としてその目標は消えていません。「この研究は石川だからできたこと、石川にしかできないこと、それらは当然価値のあるもの」と人々の意識をコントロールし、私の研究成果を世界中に発信できるよう日々研究活動に勤しんでいます。

女子中高生へのメッセージ

私は親族から「女に学問は必要ない。理系なんて男から生意気だと思われて嫁の貰い手がなくなる」と言われました。そんな古い考えは、私がさらに活躍して世間から一掃します。室蘭工業大学は男

女問わず歓迎します。特に創作が好きな人にはピッタリなところだと思います。みなさんは安心して室蘭工業大学に来てください。



■ 進め、理系女子！道内国立3大学トークセッション型説明会 ■

一室蘭工大×北大工学部×北見工大がリケジョの本音を語りますー

日 時：令和7年5月11日（日）11：00～16：00
場 所：チカホ（札幌駅前通地下広場 北大通交差点広場（西））
対 象：理系の進路に関心がある女子中高生と保護者等

令和7年5月11日（日）、進め、理系女子！道内国立3大学トークセッション型説明会 一室蘭工大×北大工学部×北見工大がリケジョの本音を語りますーを開催しました。

理系の女性が少ない現状を打開するため、女子生徒、保護者や中学・高校教員の方たちに理系大学に進む女子学生の生活や就職などの現状を知っていただく機会として、初めて道内3大学（室工大、北大工学部、北見工大）がタッグを組んで説明会を開催し、当日は約100名の関係者に参加いただきました。

本説明会では、各大学の女性教員、現役女子学生、卒業生が工学の魅力語り、札幌市内の女子生徒からは「理系女性の生の声を聞くことが出来て大変参考になった。自分の進路に向かって頑張っていきたい」との感想が寄せられました。各大学の進学相談会も実施され、各大学のブースに訪れた女子生徒やその保護者に対し、大学パンフレットやスライドを用い、それぞれの大学の魅力を伝えました。



■ 附属図書館共催 英語論文セミナー ■

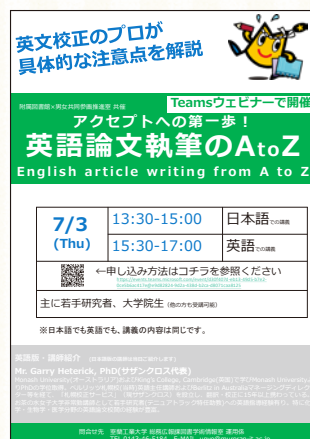
「アクセプトへの第一歩！英語論文執筆のA to Z：英文校正のプロが具体的な注意点を解説」

講 師：サザンクロス株式会社 代表 Garry Heterick 氏
日 時：令和7年7月3日（木）【日本語編】13:30～15:00 【英語編】15:35～17:00
開催方法：オンライン（Zoom）
対 象：若手研究者、大学院生
共 催：附属図書館

附属図書館と共同で開催する、英語論文セミナー「アクセプトへの第一歩！英語論文執筆のA to Z：英文校正のプロが具体的な注意点を解説」を令和7年7月3日（木）オンラインにて開催し、日本語編は31名、英語編は8名が参加しました。

講師はサザンクロス株式会社よりGarry Heterick 氏（代表）をお迎えし、英語論文を執筆する上での重要なポイントや注意点等について、昨年度同様英語編と日本語編に分けて講義いただきました。

アンケートでは、「満足」もしくは「ほぼ満足」と答えた回答者が95%であり、「改めて論文を書く上での注意すべきことが分かった」「英語で論文を書く力が多方面から向上しました」などの感想が寄せられました。



ダイバーシティ通信 第22号（2025年9月）

国立大学法人 室蘭工業大学 男女共同参画推進室 女性研究者支援ユニット（UFR）
〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号 TEL：0143-46-5018 / FAX：0143-46-5032
E-mail：ufr@muroran-it.ac.jp URL：https://u.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

本学の男女共同参画推進を応援して下さる個人・企業からのご寄付を受け付けております。詳しい手続きは下記URLをご覧ください。
https://u.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/kifu.html
ぜひご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

本誌および本学の男女共同参画等についてのご意見・ご要望をUFRまでぜひお寄せください。

男女共同参画推進室
Office for Promotion of Gender Equality

女性研究者
支援ユニット
Unit for Female Researchers